



# 「情報」と「ネットワーク」いま僕たちに大事なもの

3年余りにわたってお届けしてきました  
「老後の来ないゲイはなごー」じつは今回で最終回となりました。  
きょうはこれまでの総まとめ的なことをお話ししてみよう。

老後の来ないゲイはない！ 第13回

## 「E」で考えるライフプランニング

### 【ゲイの3大難問】

「お金は生涯、続くのか」

「故郷に置いてきた老親どうする」

「子のない自分の老後はどうなる」

東京や大阪は諸国の吹き溜まり。遠距離介護に悩む人もいますね。そしてメディアの同性婚ブームの一方、シングルの高齢期を考えている人のほうがじつは多い。カップルも死別すればシングルです。悩みはつきないけど、「一緒に考えよう」。

### 【人まの3大資金】

「住宅」「子育て」「老後」

ただし、子育て資金は多くのゲイにとっちは不要でしょう。そのぶんのお金を手に活用しましょう。

### 【3つに分けるお金】

「暮らすお金」

「楽しむためのお金」

「取りのけておくお金」

支出のバランスいかがですか？  
まず貯金や保険など将来のために取のけて、残ったお金の範囲内でのやり繰り。そして借金はしない。クレジットやり払いの買い物も、本当は借金ですね。たまにはカード類を置いて、現金払いの感覚を思い出してみよう。

### 【性的マイノリティが書くべき3つの書面】

「医療に関する意思表示書」

「任意後見契約書」

「遺言書」

いまは自己決定が尊重される時代。病院での面会を保証したり、認知症などのときに財産管理やいろいろな契約の代理権をあらかじめ認めたり、亡くなったときの財産の遺贈や死後の片付けの委任をするなど、書類をきちんと作ることで、パートナーに任せたり渡したりすることができます。同性婚などの法制度がない日本ですが、じつは婚姻と同様の因妻を得る方法はいくつ

あるのです。あらかじめ知っていただければいいと思います。

### 【もつべき3つの相談相手】

「身体かかりつけ医」

「お金の保険の担当者やFP」

「法律弁護士や行政書士」

いずれも自身の状況を踏まえて相談できる人を見つけておきましょう。結婚しない・子どもはほたないとか、法律上認められていない同性パートナーがいるなどです。同性間の性行為があることも話せると、医師の診断が正確になることもあります。

### 【気を付けたい親の3つの情報】

「親の健康状態」

「介護や葬儀についての意向」

「遺産になりそうな財産」

健康状態は帰省のたびに話したり観察してみましょ。家屋の転びそうなどにも要チェック。介護については、いどど地元地域包括支援センター（介護などのよろず相談所）など

を訪れ、あいさつがたがた地元の介護施設や行政の介護サービスの有無種類など情報を聞いてみるのもよいでしょう。介護やその後の葬儀についての意向、財産整理についても、親と話し合う機会があればいいですが、なかなか話したくないのも現実。エンディングノートを渡して、これに整理しておいてもらえたり子どもとしてサポートするだけだと伝えてみるのも助かるでしょうか。万一の時にたれに知らせたらいいのか、子どもが知らない親の交友関係は重要な情報です。

### 【通じておくべき3つの地域事情】

「買物事情」

「医療・福祉事情」

「政治家の事情」

この暮らしの不安から、ゲイのグループホーム「ゲイの老人ホーム」は叫ばれ続けて20年。なかなかできずもないし、できたとしても、そこは天国なのか？ もっと手軽に、たとえばおなじマンション内、あるいは自転車で3分の距離に、緊急時に駆けつけられる人がいたら、どんなに安心でしょう。カギの預け合いや、ツイッター

### 【かけつけあえる3人のご近所さん】

「かかりつけ医や地域包括支援センター」

「政治家の事情」

「地域事情」

この暮らしの不安から、ゲイのグループホーム「ゲイの老人ホーム」は叫ばれ続けて20年。なかなかできずもないし、できたとしても、そこは天国なのか？ もっと手軽に、たとえばおなじマンション内、あるいは自転車で3分の距離に、緊急時に駆けつけられる人がいたら、どんなに安心でしょう。カギの預け合いや、ツイッター



新しい本を作りました。同性カップルのお役立ち本決定版！  
です（笑）。この連載でも紹介した情報のほか、切抜き式の緊急連絡先カードや、巻末の「もしものときの伝言ノート」で二人の情報を共有。えっ、おひとりさまのガイドブックもほしい？ はい、頑張ります！

文 ● 永易至文

1966年生まれ、行政書士、2級FP、ライター・編集者。セクマイのお金と法務に強い「東中野さくら行政書士事務所」を運営。また、セクマイの老後の支え合いを考えるNPO「パープル・ハンズ」事務局長。LGBTポータルサイト「2CHOP0」に「老後の新聞」連載中。

ゲイにも老後が来る——この単純な、しかし厳然たる事実を、ながら多くのゲイが忘れていました。結婚するゲイが多く、ゲイとして高齢期を迎えるモデルケースが見えづらかったのも確かです。フケバーの先輩たちも、家に帰れば妻がいるのが通常でした。いつのころからか、社会の非婚化ともあいまって、ゲイとして、シングルで、老後を迎える人が増えました。しかし同時に、どうや

って老病死を含んだゲイの人生を送るのか、そんな問いにも行き当たりしました。それ以前、ゲイであることは趣味であり、嗜好であり、遊びであり、場合によっては治すものだったので、そこに「人生」という発想はなかったのです。ゲイの老後に必要なもの、それは「情報」と「ネットワーク」がもしもありません。もちろんお金があれば、できることも多いでしょう。恋人があればなおいいでしょう。でも見回していただきたい。お金があっても不幸な人はいっぱいいます。相方がいて寂しい人もいっぱいいます。お金はほとんどにあればいい。徳川慶朝さんという、慶喜のひ孫にあたるかたがエッセーで「きょうはうな重が食べたいな」と思うとき、あまり財布のなかに気にせずに食べられるぐらいが豊かなさの目安と書いてました。私もそれが目標です。

私たちに必要なものは、ゲイバージョンに翻訳された良質な情報と、それを伝える情報誌。そして、人とのネットワークと、それを広げる場であるバーやコミュニティスペース。いま、各地でさまざまな人が、私たちと未来、すこやかな健康のために、情報を発信し、人と人をつなぐようになっています。これからも南界堂通信や「dista」を、みんなで盛り立て、活用していきましょう。ゲイでよかった！というふうあったけど、ああ楽しかった、そんな人生を歩んでいくにはありませんか。



「隣の芝生は青い」と言いますが、意外と利用しやすい施設が身近にあるかもしれません。今回は大阪府岸和田保健所にお邪魔し、保健師の方々にお話を伺ってきました！

## 大阪府岸和田保健所

住所 / 大阪府岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-5681  
http://www.pref.osaka.lg.jp/kishiwadahoken/

【検査日時】  
第1、第3火曜日  
13時30分～14時30分



難波から南海電車で揺られること約30分。今回は大阪府岸和田保健所にお邪魔し、保健師の方々にお話を伺ってきました。取材でお邪魔した当日は、魔いた当日は、だんじり祭りの週という事もあり、街中には紅白幕や提灯が飾られ、お祭りムードで熱気もムンムン！ 南海岸和田駅から10分ほどのところにある大阪府岸和田保健所。どこへなく懐かしさが漂う雰囲気は小学校の校舎を彷彿とさせる。月に2回、第



長い廊下の待合所、検査の日には隣りの人と顔を合わせないようにロールスクリーンが降ろされ、受検する人の流れを一方向に促すなど、きめ細やかな工夫がされている。

案内してくれたさつた梅室さんを中心とした4名の保健師、採血を担当する看護師、受付を担当する事務方スタッフの、6名で検査を行っているのですが、この6名のチームワークが何ともいえずステキでした。採血が終わった後には看護師さんがとびきりの笑顔で「コンドームを配ってあげたりもする。

「また来てほしいですか？」定期的に検査に来てほしいですか？「そう言い残して帰る受検者も多いぞう。話しやすい環境づくりを心掛けているだけあって、心の相談やドラッグの相談など深い話に至ることもありますが、どんな相談が来ても専門医やカウンセラーに繋げる役目もしっかり担っている。

岸和田の観光スポットを聞いたところ、岸和田城やだんじり会館をお薦めしてくれました。取材当日はあいにくの雨模様でしたが、青空の下に広がる岸和田城はきこっと采るのに違いなし、お堀端を散歩やサイクリングするのも何とも心地良き！ ちなみに岸和田保健所は駐車場も完備しているので車で来所も可能。観光スポットもたくさんあるので、時間をかけて城下町散策をしてみたいかがでしょうか！



# 南界堂 茶会



## おクスリと暮らす

中高年世代を中心に毎回賑わっている南界堂茶会。第3回目はお薬をテーマに開催されました。日本ではまだ数十名しかないHIV感染症専門薬剤師の中村美紀さんと、大阪糖尿病療養指導士の迫田直樹さんをゲストに迎え、3つのテーマに分けてお話を伺いました。

### ① HIV服薬の最前線

「不治の病」というイメージから始まったHIV感染症、ここ20年の薬の進歩はめざましく、一日一回錠の時代がきた。

### ② 性感染症服薬の最前線

肝炎、梅毒、尖圭コンジローマについて。B型肝炎はHIVに比べて新薬の開発が遅い。普通の健康診断では検査項目に入っていないので発見が遅れがち。

### ③ 生活習慣病に関する服薬

糖尿病や高脂血症は若い頃から生活パターンが影響してくる。心筋梗塞は「偏食」「運動不足」「アルコール」「タバコ」の4項目があるかないかでリスク因子が2倍になるといわれている。食生活が最も重要。年齢と共に適切な食事の分量も変わっ

てくるので暴飲暴食は法度！血圧が気になる方は塩分を控えるためにすること（塩分摂取は1日6g未満）、コレステロールの排泄を助ける働きを持つ食物繊維をたくさんとる事を心がけましょう！ また歳を重ねると胃酸が減っていくので、食べ過ぎでしまつと消化不良を起こしてしまうのでご注意ください！ 忙しい日々、時間に追われてついつい早食いになっていませんか？ 時間をかけゆくりと、そしてよく噛んで食べることも大切です。

イベントが終わったあとでもゲストの方たちを交えて和やかなおしゃべりが続き、distaは文字通り「お茶会らしい雰囲気」に包まれていました。

自分は現在、LGBTのための老人施設を作ろうとしている。以前から漠然とそういうのがあればいいなと思っていて。そして2005年に公開された犬童一心監督の映画『メゾン・ド・ヒミコ』を観てからは、ますますその思いは強くなっていった。あれはいいなあ、これが、この時代の、「あんな絶対ない！」と思うようになった。が、金も人も無い者に現実はない。ほほ諦めていたある日、SNSを通じて小学校の同級生と再会した。そして彼が老人ホームなどを幅広く経営していることがわかり、思い切ったカムアウト、LGBT向けの老人ホームを作れないか？と提

案してみた。最初はニーズがあるのかわからないと汲っていたのが、何度か話をするうちに実現させようということになった。そして同級生の会社の専属医とミーティングをすることになり、開口一番聞かれたのが「LGBT向けのホームってどんなイメージを持ってはいますか？」

自分が「メゾン・ド・ヒミコ」って映画のような...と話し出すと、先生は「あ、やっぱり。あれは幻想や理想だと思って下さい。ホームに来る方たちははっきり言ってご家族や親族の方がもう面倒を見ることができなくなってきたからあずける。正直、アイデンティティの失われた状態の人がほとんどなんです。あの映画に登場するのは老人ホームではなへ、ごちそうかと言うとグループホームですね」と言わ

れた時に、ガラガラと偶像が崩れた気がした。だけど「老人ホームは極端に言えば寄宿舎のようなもの、『メゾン・ド・ヒミコ』的な老後を目指すなら、シェアハウスを進化させて、グループホームからサービス付き高齢者住宅を最初はイメージした方がいいかもしれない」と、光明と針路を与えてくれた。映画そのままではないけれど、LGBTが快適な老後を過ごせるような施設を作ろうと活動している現在。自分たち以外にも全国でこういうプロジェクトを立ち上げている団体があり、とても嬉しい。

で、改めて映画を見直した。おかしなところもたくさんあったけれど、やはり理想としてこの部分もあった。

「みんなで集まれば楽しいと思ったのに、結局死ぬ順番を待っているだけなの...」というセリフがあった。肝に銘じなきゃいけないなあと思った。

文 ● バニラ・ノブ  
ライター、雑誌編集、企画など関西を中心にさまざまな活動を行い、『パティ』などにも執筆。最近では毎週木曜日限定オープンバー「5 DAYS BAR」(北区堂山町7-16番多八ビル1階)で料理の腕を奮っている。

### 堂 山

ゲイバーはもちろんカフェやお食事処、ハッテン場やクラブ、残念ながら閉館してしまったけれどかつては映画館もあったりと、ありとあらゆるゲイ向け商業施設がひしめき合う西日本最大のゲイタウン。とはいえ10年前に比べるとお店の数も若干減少傾向にある。またガールズバーや無料案内所が増えたことで、何とも言えない雑多感にさいなまれたこともあったりして…。しつこい引きにイラッとした方も多いのでは???

### 新世界 (オオミナミ)

オオミナミと呼ばれることも多い新世界エリアは、今や堂山に次ぐゲイタウンと言っても過言ではない。観光客がわんさか押し寄せる通天閣のお隣にゲイタウンが広がっている。「新世界が一番ホット！」と言われるくらい盛り上がっている。マスターもちらほら…。セカンドライフを謳歌する人が多く集う街だけあって、昼下がりからオープンしているお店が多いのもこの街の特徴。

### ミナミ

大阪初のゲイバーはミナミから始まったと言われるだけあって老舗が多く集まる街。旧新歌舞伎座の裏隈限、全盛期には堂山よりも多いゲイバーが立ち並び賑わいをみせていたそう。裏通りの陰気くさい雰囲気、より一層ゲイのお忍び感を煽っていたとも。最近は居酒屋やワインバルなど小洒落たお店が増えたことで、陰気くさい雰囲気も全く感じられない街になりました。観光バーも増えています。

### ちよこつとメモ

「定期的なHIV検査を受けましょう」というメッセージと共に、抱きあう男性同士が描かれた看板が堂山にも登場しました。これは新宿2丁目でも掲げられている製薬企業・ウィアヘルスケア株式会社の看板。ポートピア側から堂山方面に信号を渡る際、是非とも見上げてみてください。

### 男 街

大阪のゲイタウンの今昔を改めて紹介します

### 番外編

ちよこつと寄り道！

## 男色エンタメ紀行 どんな老後を過ごすのか… 新たな選択肢 LGBT向け老人施設



『メゾン・ド・ヒミコ』 2005年日本  
監督/犬童一心  
出演/オダギリジョー、柴咲コウ、田中眠、西島俊之ほか

案してみた。最初はニーズがあるのかわからないと汲っていたのが、何度か話をするうちに実現させようということになった。そして同級生の会社の専属医とミーティングをすることになり、開口一番聞かれたのが「LGBT向けのホームってどんなイメージを持ってはいますか？」

自分が「メゾン・ド・ヒミコ」って映画のような...と話し出すと、先生は「あ、やっぱり。あれは幻想や理想だと思って下さい。ホームに来る方たちははっきり言ってご家族や親族の方がもう面倒を見ることができなくなってきたからあずける。正直、アイデンティティの失われた状態の人がほとんどなんです。あの映画に登場するのは老人ホームではなへ、ごちそうかと言うとグループホームですね」と言わ

文 ● 山田創平  
京都在住の大学教員。専門は地域研究だが、実際にやっているのは地域のおいしいもの研究(人も食べ物も!)。

絵 ● プブ・ドラ・マドレーヌ  
リハビリ中のドラッグクイーン。大阪市東淀川区生まれ。絵を描いたりデモに行ったりしています。



### 大阪 地名の起源(3)



## 移動し混ざり合う… 壮大な文化の混淆に 謎解きは続く。

大阪と大分をつなぐ地名  
この数年、国東半島(大分県)の文化が気になって通っている。今回は国東半島と大阪の関係から始めたい。国東と大阪に同じ地名があり、そこに同じ名前の神が祀られていると気付いたのは国東に通い始めて半年たった頃だった。同じ地名とは「姫島」である。

国東半島の北側海上にある姫島には比売(ヒメ)神が祀られ、祭神はヒメコソ、一方、大阪市西淀川区姫島町には姫島神社があり祭神はアカルヒメである。ヒメコソとアカルヒメは同じ神であり、朝鮮半島から渡ってきたとの伝承がある。谷川健一と金達寿は『地名の古代史・九州篇』(河出、1988)の中で「アカルヒメ族とても呼ぶべき部族が朝鮮から…国東の姫島、難波の姫島

へ移動して、大阪湾一帯はこの部族によって開け始め」と語っている。谷川はさらにアカとは銅のことで、このころ朝鮮半島から金属の精錬技術が入り、北部九州から大阪平野にかけて広く展開したとする。なぜかこのようにこのような話をするのかという、私自身が実は金属の精錬と関係があるからである。

た。その神秘性について谷川は、ブリヤート人の「鍛冶屋はシャーマンの巣」という言葉を紹介するが、私の父方の実家には戦前、隣家にシャーマンがいたという。国東の姫島、難波の姫島、そして朝鮮半島の文化、製鉄、シャーマニズム…。時あたかもヘイトスピーチや排外主義が社会に広がり始めていた頃である。彼らの言う日本とは何なのか。

近代国民国家が生み出した民族概念は虚構である。人びとはずっと移動し混ざり合い、他者を受け入れて生きてきた。そしてその痕跡は私たちの足元に地名や習俗として今も残る。日本列島孤には数千年の間、朝鮮半島や大陸、南洋や北海の島々から多くの人がやってきて共に生きてきた。いわゆる日本文化とはそのような壮大な文化的混淆の謂である。タタラやそれに付随する深遠な神秘性や文化は、ヒッタイト、エーゲ海、ユーラシア、朝鮮半島、九州から瀬戸内、大阪という巨大な文化圏が生み出した人類史の精華である。鉄を精錬することを「吹く」と言い、伊福という地名、あるいは伊福部という氏族にその名残がある。水爆実験によりめざめる『ゴジラ』(1954)は三島由紀夫によって文明批判の映画と激賞されたが、偏狭で不寛容な近代社会を糾弾するその映画のテーマ音楽は伊福部昭により作曲された。不思議なめぐり合わせである。

私の父方の実家は私が子供の頃まで銭湯をやっていたが、風呂屋の前は鍛冶屋であった。古事記に鍛冶の神「天津麻羅」が出てくるが、鍛冶屋のことを古来「まら」と言う。古代の製鉄法タタラでは、差し入れられる送風機「鞴」を男性器、タタラを子宮と見て溶け出る金属を湯と言う。羊水は今でも湯という。タタラを覗く穴をホドと言、これはホト(女性器)のことだ。「嫁ぐ=ホト継ぐ」とも言われるが、金属精錬は出産に見立てられる神秘的な現象であった。

大阪の古称、難波は浪速から出た言葉とされるが、この説には批判がある。理由は単純で内海であった大阪湾の波は速くはないというものであり、さらには難波の枕詞である「押し照るや」は、本来海に掛かる言葉ではない。では難波とは何なのか。『大阪難読地名がわかる本』(創元社、2003)では朝鮮語説をとっている。朝鮮語で太陽を意味するナルに門・口・窓を意味するニワが付きナルニワと

なったというものだ。大阪湾には日根鏡のような太陽信仰が根強くあるが、同書は「ニワ」という地名は、太陽信仰を有する新羅系の渡来人によってもたらされた」としている。私はこの説は正しいと思う。

### 日本文化とは

### ✈ 海外男街通信

# Korea

16年目のソウル・プライド・パレードが迎えた  
史上最大の危機、そして劇的な大逆転と感動の嵐



2015年6月28日、パレードのメイン会場となったソウル広場。

「性的マイノリティが誇りををもって生きられる社会になるように」との願いをこめ、15年前から韓国ソウルで毎年続けられてきた「**コア・クィア・カルチャー・フェスティバル**」(以下、KQCF)。16年目を迎えた今年のフィナーレを飾るパレードは6月28日、KQCFが始まって以来はじめて、**都心のど真ん中にある市庁舎前のソウル広場をメイン会場に開催されました。**

その日のソウルは、見事なほどの快晴。青空とビル群を背に高くひるがえる数々のレインボーフラッグ、広場のふちを取り囲むように所せましと並んだ90近いブース、まぶしい緑の芝生の上にはパートナーや友人と楽しげに話しながらパレードの開始を待つ人々の姿…。でもそんなハッピーな風景からは



「ヘイト勢力」が掲げていたプラカード。

「性的マイノリティが誇りを...」  
おおよそ想像もつかないような大波乱が、ここに至るまでにはあったのです。  
昨年6月のパレード会場となったソウルの学生街・シンチョンには、反同性愛を訴えるキリスト教系保守団体や極右団体などの「**ヘイト勢力**」が大量に乱入。道路に寝てべったり座ったりして行く手を阻んだため、パレードは**5時間以上にわたって中断**を余儀なくされてしまいました。  
そして今年、KQCFの実行委員会がパレードで通る道路やメイン会場となる広場の使用許可を取ろうとするたび、ヘイト勢力が先回りして集会申請を行う、という妨害が繰り返され、とうとう**当初予定されていた6月13日のパレードは中止**。やむなく日程を変更し、「28日ならばソウル広場を使用してよい」との許可をようやく市庁から得られたところで、今度は昨年のような衝突が都心で起こると交通に大きな支障が出る、という理由により、**警察署がパレードに禁止処分を下してしまっただけ**。  
ああ、万幸です...と誰もが思った、その時！まさかの逆転劇が始まったんですね。  
まず、この経緯を知った**世界中の人々からのソウル・パレードを応援**！という声がいっぱい。や、フェイスブックを通して殺到。そこから警察はパレードの開催を認めるべきだとし始めて、**瞬間に数千もの署名が集まったのです**。こう

「お疲れさま、喉が潤いたでしょ...」とベットのポットを差し出した。それがどれほど、見ている側心を揺さぶり、また強く励ましてくれる情景だったか...今思い出しても、かあっと胸が熱くなるのを感じます。**いやあ、ほんとに行っちゃった、よかった涙。**



パレードの進路を、体をはって守ってくれた警官隊の皆さん。かっよかったです！

文・写真 ● SHIGETA  
京都出身。東京の大学を出て韓国ソウルに留学したのち、日本の地方都市にある大学に就職。自分自身がゲイであることに悩み、ウツ状態になって苦しんだ経験から、日韓の性的マイノリティの若者をとりまく環境や、大学・地域社会での支援のあり方について研究しています。定年後は関西に戻る予定です。関西の皆様、よろしくおたの申します☆

## 男 for you 朋友

# 気の合う仲間と共に過ごす：前編

堂山のゲイバーで知り合っただけで40歳を前に老後をどう過ごすか真剣に考え始めた。気の合う友達と共に仕事を早期退職、退職金を元手に沖縄に移住し、桜坂(ゲイタウン)で「GENTS」を経営する猪熊さん、まさおさん、けいじさんにお話を伺いました。

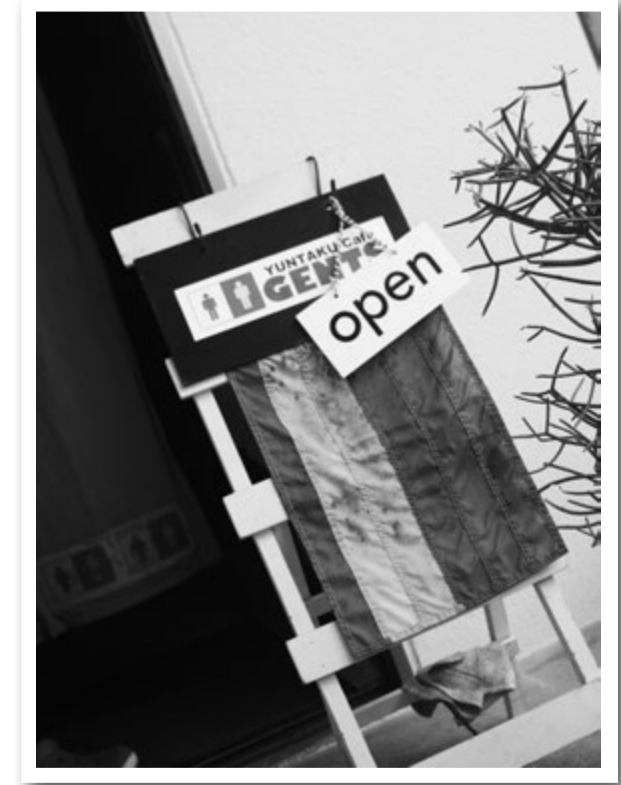


左より  
けいじさん、まさおさん、猪熊さん。

**MASH大阪(以下M)**：そもそも皆さんのなれ初めは？  
**猪熊**：たまたま通っていたお店が一緒やっただけで、最初の内はお互いに別々のグループやっただけで、会っても挨拶する程度の付き合いだった。  
**まさお**：じっくり話す機会があったら、ちゃんと話してみたら何か意気投合！一気に親しくなりましたよ。  
**猪熊**：親しくなるにつれて「**どんな老後を過ごすか**」ってことも話題になったりしてね。ゲイは歳を取ると独りになりがちやから、そうならんようにも一緒に過ごさないと。  
**M**：けいじさんは？  
**けいじ**：ふたりよりかは随分後を知り合っただけで、ふたりの描く老後の過ごし方に共感できる部分もあって、すんなり仲間入りした感じです。

**M**：それで沖縄に？  
**猪熊**：当初は海外：ハワイなんかいいななんて思ってたけど、海外の土地を購入して移住するのはいろいろとハードルも高くて。  
**まさお**：そんな時ふらりと旅行で訪れた沖縄が何とも心地よくて、「ここじゃあ〜」って。  
**けいじ**：台風直撃で大雨の沖縄旅行やったけどね...(笑)  
**M**：沖縄での共同生活はそんなにスタートした？  
**猪熊**：当時は内地に対する信用も薄くて、部屋を借りることも一苦労しました。  
**まさお**：結局住民票を沖縄に移してから本格的に部屋探しを始めた。  
**猪熊**：当初の予定ではのんびりつましやかに暮らすつもりでした。  
**M**：お店を開こうと思ったの

は？  
**けいじ**：収入もない状態で生活を続けていくのはやはり心配になったりして...  
**猪熊**：自分たちもそうでしたが、沖縄のゲイバーは開店時間が遅く、晩御飯を食べてから開店までどうないしょって事になりがちなんです。それなら早くから開いているお店を作ろう！



**YUNTAKU cafe GENTS**  
〒902-0065  
沖縄県那覇市壹慶1丁目10番1-202号 623BLD  
☎098-927-5470  
Cafe Time : 13:00~17:00 (水曜定休)  
Bar Time : 日~木 19:00~24:00  
                  金・土・祝 19:00~26:00以降  
<http://www.gents-okinawa.com/>

**まさお**：どうせなら屋間から集えるカフェもやっちゃんとうと4年前にオープンしました。  
**猪熊**：お店で使っているコースター、2種類のデザインがあるねんけど、開店祝いとして友達が作成し納品：いやプレゼントしてくれましたよ！  
**M**：3人の役割分担はあるんですか？  
**けいじ**：基本的にカフェ営業はボクが担当しています。



**まさお**：バー営業はワタンが。  
**猪熊**：ワタンはカウンターに座ってお客様をお出迎える担当！(笑)時間が許す限り、内地からくるお客様を観光案内がてら車で連れ出すこともあります。  
**けいじ**：営業中の3人の立ち位置もほとんど変わらなず決まっていますよ。(笑)  
**まさお**：沖縄は観光大国だけあって全国からお客様がやって来るので、新しい出会いが楽しい！  
**M**：当初描いていたのんびりつましやかな生活とは真逆になっちゃいましたね。  
**猪熊**：人生思っ**ていけばなるようになる**！これはこれでアリなんです！(笑)  
**M**：次号では沖縄での生活などもお伺いしようと思います。って訳で次号につづく！